

錦

錦地域 まちづくり広報紙 第34号

令和5年3月27日
発行責任者 山本直由
編集 錦広報紙編集委員会

錦地域まちづくり協議会構成団体

- | | |
|-----------------|----------------|
| 錦地区連合自治会 | 錦地区老人クラブ連絡協議会 |
| 錦地区社会福祉協議会 | 錦地区自主防災会 |
| 錦体育協会 | 錦地区青少年育成会 |
| 錦地区民生委員児童委員協議会 | 錦青年会 |
| 宇都宮市立錦小学校 | 宇都宮東交通安全協会陽北支部 |
| 宇都宮市立陽北中学校 | 錦地区交通安全推進協議会 |
| 宇都宮市立錦小PTA | 御用川錦河川愛護会 |
| 宇都宮市立陽北中PTA | 錦地区婦人防火クラブ |
| 錦小地域協議会 | 八坂神社神輿奉賛会 |
| 錦地区子ども会育成会連絡協議会 | 錦地域リサイクル推進部会 |
| 錦防犯パトロール隊 | 宇都宮市消防団第五分団 |



宇都宮市(宇都宮市長はじめ市幹部職員の皆様)が宇都宮市内全39地区に向いて、各地区住民と健康、教育、生活、都市基盤等について直接話すことにより、地域の課題や問題点の解決に向けた意見交換会を、各地区で4年ごとに開催されています。錦地区では前回(平成30年7月26日)に続き、令和5年1月27日に開催され、錦まちづくり委員約20名が出席しました。地域代表意見の発表の後、宇都宮市長より回答がありました。

錦に住んでよかった

錦地区まちづくり懇談会が開催されました

令和5年1月27日(金)

主催/宇都宮市総合政策部広報・錦地域まちづくり協議会

地域代表意見1

集合住宅の「ゴミステーション」適正利用に関する指導強化について

発言者 錦地区連合自治会副会長
八坂西自治会 中沢 仁一 会長

意見の要旨 集合住宅に住む外国人居住者のゴミステーションでは、ルール無視によるゴミ排出が日常化している。地域ではゴミステーションの見回りや注意書き貼り出し等行っているが改善されていない。宇都宮市からも外国人や自治会未加入者への指導、また集合住宅管理会社への指導義務付けをお願いしたい。

宇都宮市長の回答

入居者への指導について管理者へ条例で義務付けている。外国語チラシ(8か国語)を配布している。ステーション管理について地域住民からの情報があれば管理会社を指導する。今回の問題ステーションはゴミ減量課が現地確認し対応する。



地域代表意見2

子育て支援に関する要望

発言者 宇都宮市立錦小学校PTA会
村山 啓介 会長

意見の要旨 諸物価高騰の折、家計への負担が大きくなっている。家計費負担の軽減のために、給食費の無償化や教育をうけられる環境づくり等、子育てしやすい支援策をお願いしたい。

宇都宮市長の回答

学校給食の無償化について現在は給食材のみ保護者負担となっている。就学援助は全額市が負担している。諸物価高騰についてはプレミアムチケット、水道料基本料金無料(期間限定)、トクトクチケット等に対応している。児童手当は国の動向を注視し対応する。



自由討議意見1

JR宇都宮線第一今泉踏切交差点の交通安全対策について

発言者 今泉町9丁目自治会 和氣 精 会長

意見の要旨 同踏切周辺は近道として、朝晩は通勤通学路として交通量が多く、時折スピードを出して走ることがあり、過去に何度か事故が発生している。横断歩道の設置や減速させる交通安全対策をお願いしたい。

宇都宮市長の回答

踏切周辺の横断歩道状況を確認のうえ、標識看板の設置や路面凹凸部設置等の安全対策を検討する。その他停止線等、市でできることは対応する。



その他出席者から次のような発言がありました。

- ゴミステーションの設置場所に関する要望
- 学童支援(現4か所)を増設してほしい
- 防犯灯に関する諸手続きを簡略化し、市で管理することはできないか





錦地区連合自治会より

錦地区連合自治会 会長 増田 良二

1 <地域自治振興功労者> 受賞おめでとうございます！

去る11月26日、宇都宮市役所において、自治会長大会が開かれ、本会からは増田良二、菊地敏秀の両氏が出席しました。今年も新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、参加者を減らすとともに時間も短縮して行われました。

地域自治振興功労者 受賞おめでとうございます！

「地域自治振興功労者」として、宇都宮市長から表彰されました。永年に亘り、地域の自治会活動に尽力され、多大の貢献をなされたことに、会員の皆様と共に感謝いたします。

宇都宮市長



松本 孝一氏
今泉町4丁目自治会長



公家 守氏
今泉町5丁目自治会長



中沢 仁一氏
八坂西自治会長



上野 裕之氏
錦自治会長

表彰式では、錦地区から松本孝一(今泉町4丁目)、公家 守(今泉町5丁目)、中沢仁一(八坂西)、上野裕之(錦)の各自治会長が「地域自治振興功労者」として、宇都宮市長から表彰されました。永年に亘り、地域の自治会活動に尽力され、多大の貢献をなされたことに、会員の皆様と共に感謝いたします。

引き続き行われた研修会は、オンライン形式により「これからの時代にふさわしい自治会とは何か」をテーマとして、講師の(株)GLOCAL DASIGN 代表取締役 酒本 守氏の講演があり、有意義な研修大会となりました。

2 「自治会活動元気アップ研修会」について

昨年度に引き続き、自治会長など自治会運営を担っている方々を対象とした研修会が、今年度は3回開かれました。

錦地区連合会からは、12月18日に宇都宮市役所において開かれた研修会に、和氣 精今泉町9丁目自治会長と新井裕子今泉町8丁目東自治会長の両氏が参加しました。

3 「栃木県自治会連合会会長研修会」について

令和5年1月20日、宇都宮市文化会館において、県自治会連合会が主催となり開かれました。対象者は加盟している25市町の連合会長で、増田良二会長が出席しました。

研修会に先立ち、自治会活動功労者の知事表彰等が行われ、引き続き福田富一知事、山形修治県議会議長等の祝辞がありました。

引き続き、開催当番である塩谷町区長会から、塩谷町の紹介や「那須塩原市自治会活動の促進に関する条例」(令和4年4月1日施行)について、条例制定の経緯と基本理念や内容についての説明が行われました。さらに、那須塩原市自治会連絡協議会からは、市と連携しての、自治会加入促進キャンペーンについてのPR動

画や促進チラシの作成などについて事例発表が行われました。

研修会では、千葉大学大学院教授の関屋 昇氏により「これからの自治会活動の課題と展望」をテーマとして講演がありました。講演内容は、自治会活動の意義、諸問題、地域活動の担い手不足への対応でした。さらに、民生委員や加入促進策などについて質疑応答があり、大いに参考となる研修でした。

4 「ふるさと宮まつり」の中止を受けての 賛助金の取り扱いについて

8月6日～7日に開催予定であった、令和4年度の「ふるさと宮まつり」については、栃木県の「BA・5対策強化宣言」発令の決定を受けて開催中止となりました。これに伴い、各地区連合自治会で取りまとめていた賛助金について⑦「区へ戻すことを希望する地区連へは地区連の口座へ返金する」⑧「それ以外の地区については、来年度の賛助の原資として宇自連口座に預り金として専用口座にストックする」の2つの対策を講じることが理事会で承認されました。錦地区連合自治会としては役員会において⑧の宇自連でストックし、次年度の宮まつり賛助金に充てることにして、第3回自治会長会議に報告し、承認されました。

なお、錦地区連合会での賛助金は154,000円です。会員の皆様のご協力をいただきましたことに対し、厚くお礼申し上げます。



コロナ禍の自治会活動

今泉町9丁目自治会 会長 和氣 精

地域の皆様、今年もよろしくお願いいたします。さて、私たち今泉町九丁目自治会では、令和2年から3年連続で書面表決による総会開催となってしまいました。コロナ禍以前の総会では組長さんや自由参加者を含め80人以上の人が出席し、話し合っていた貴重な場が失われた訳です。その間、会員の高齢化が進み、320世帯のうち約半分が75歳以上の高齢者を含む世帯となりました。そこで心配なのが、一人暮らしの高齢者世帯の増加です。今の時代は職業や仕事の関係もあり、子供世帯と同居する親世帯は珍しくなりました。ちょっとしたことで転んだり、具合が悪くなったりしたときに助けを呼べる家族や隣人が傍にいれば良いのですが、現実には本人が救急車を呼んで助けを求めることが命を繋ぐ手段となりつつあります。また、コロナ禍では病院事情もひっ迫して、果たして満足な治療が受られるのか、入院ができるのかも心配になります。自分や家族の命を守るため自らが気を付けることはもちろんですが、周りから助けてもらうことも時には必要です。自治会としても地域包括支援センター今泉陽北と連携し、町内の民生委員さんや福祉協力さんと協力しながらひとり暮らしの高齢者の安否確認や、日頃からの声掛け・見守り活動を続けています。

さてコロナ禍の中、自治会として何ができるのか？この2～3年、体育祭やお祭り、組長会議や懇親会等が軒並み中止となってしまい、本来使うべき予算が支出できない状況が続いています。この貴重な財源を何に使うべきかを役員会の中で話し合った結果、事故や事件を未然に防ぐため防犯灯を増設することで意見がまとまり、書面表決ではありますが総会に諮ったうえで防犯灯の設置が決まりました。昨年は町内の皆さんと6月から7月にかけて防犯灯設置要望受付及び現地確認を行い、その後地主の了解を得たうえで新たに16基の防犯灯を設置し、町内の防犯灯総数は156基となりました。



今泉町9丁目自治会の公園清掃活動

今後も町内の人たちは高齢化する一方で、防犯・災害対策・ごみ問題などのほか、地域に無関心な人たちの増加など課題が山積しておりますが、みんなが安全で安心して暮らせるように、町内の皆さんと共に住み良いまちづくりの一助を担わせていただきますので、よろしくお願いいたします。



敬老会に思う

錦自治会 会長 上野 裕之

今年も9月10日に敬老会が開催されました。

コロナ禍の影響で規模を縮小し、錦コミセンの室内で、記念品をお渡しするだけのイベントでした。

錦自治会では84名の該当者がいました。私自身も含む団塊の世代が、今年から後期高齢者に仲間入りして、昨年より大幅増となりました。

ちなみに、錦自治会の「ひまわり子供会」は55名の小学生がおります。実に少子高齢化を現実のものとしています。

今年も錦自治会役員の保坂さんと二人で受付係を務め、自治会の運営や昨今の町内状況等について、日頃はなかなか話し合う機会がない中で、午前中をほぼ打ち合わせをしながら過ごしました。

毎年のようにご本人が元気よく受け取りに来てくれる方と、高齢のためや体の都合で代わりにお子様(と言っても中年以上ですが)や、お孫様が来てくださる方もいます。

敬老会という行事には色々な目的が存在していると思います。地域社会における互助の精神を養うこと、高齢者の健康確認、自治会加入への啓蒙、本来であれば年に一度の娯楽の場の提供等もあります。

いつ起こるか分からない災害時に備えて、近所の方たちの顔が分かるようにしておく事は大切です。



「東・錦地区健康づくり推進委員会」の活動内容について

会長 国府田 治

東・錦地区健康づくり推進委員会は、2017年(平成29年)4月に発足し、まもなく7年目を迎えようとしています。現在の健康づくり推進員数は錦地区が9名、東地区が5名の計14名で活動をしています。

主な普及活動としては、「錦地区文化祭」および「東地区ふれあいまつり」で健康コーナーを設け、健康づくりおよび食生活改善向上のためのPR活動を実施しています。また、東地区のふれあい会食会時に10分間ストレッチを年に6回実施しています。しかし、いずれも新型コロナウイルスなどの影響により令和2年度から中止となってしまいました。

新たに令和2年度から、少しでも体力増進に貢献できればと思い、地域の皆様を対象とした「健康体操(ラジオ体操、ストレッチ、筋トレ、口腔体操、有酸素運動など)を錦コミセンで年に12回開催しています。うち2回はウォーキングを実施しています。

令和4年度の健康体操教室開催日時は、原則毎月第1木曜日の10時から11時30分まで実施しています。また、令和5年度についても同様に健康体操教室を実施する予定ですので、私どもの活動状況を見学いただき、興味がありましたら是非ご参加いただきたいと思います。

問い合わせ先 宇都宮市保健福祉総務課(担当/永見) TEL 028-632-2941
東・錦地区健康づくり推進委員会(会長 国府田) TEL 028-623-5045

昨今はコロナ禍下ということから、人と人との交流が制限されてきました。体育祭も既に3年連続で開催されておりません。令和5年は新しい常態の中で、人と人との健全な交流ができる年になってくれることを願っています。



「ふれあい・いきいきサロン」を紹介します

錦地区社会福祉協議会 会長 野中 和夫

今年度も3年続けてコロナウィルス感染症に翻弄され、活動も行事も幾たび変更を繰り返したことでしょうか。今回はコロナの感染状況をみながら元気に活動している「ふれあい・いきいきサロン」についてご紹介いたします。

錦地区には「ふれあい・いきいきサロン」が2か所あります。すなわち「MACふれあいサロン防犯パトロール隊」(グランドハイツ今泉いきいきサロン)です。

お茶のみ話や健康体操など様々な活動をとおして、仲間づくりや生きがいづくり、さらにはご近所のつながりづくりを深めることにより、助け合いや支えあいの輪を広げる活動をしています。例えるなら「お茶の間」や「縁側」のようなホッとできる居場所づくりをしているということです。

ひとり暮らしで「話し相手がない」「誰かとおしゃべりがしたい」方、二人暮らしだけど「炬燵に入りっぱなしで、外にでてみたい」「テレビ番組がつまらない」方、子育て中で「悩みを聞いてほしい」方、高齢であったり、障害があるため出かける機会が少ない方など、一度訪ねてみてはいかがでしょうか。

今年度の敬老会は錦コミセンを会場にして、ウォークスルー方式のご長寿記念品の贈呈を行いました。天候も晴れという絶好の日となり、百歳のお祝いも三名の方にお渡しできました。地区内のご招待者数1,150名余のうち約65%の750名が受取りに來られ、賑やかな雰囲気にも包まれていました。あらためて関係者の皆様のご協力に感謝申し上げます。



百歳のお祝いをお渡ししました



コロナ禍の中でも 元気な錦小学校を

錦小学校 校長 小野 浩司

令和4年度も、やはりコロナ感染症が流行し、社会はなかなか今まで通りとはいかない状況が続いています。そんな中でも、錦小学校では校内の感染症対策を徹底し、子供たちは元気に生活することができています。

今年度は、学校行事もほぼ通常の項目を実施することができました。内容については、その時の状況に合わせて精選するという形でしたが、国体観戦や音楽鑑賞教室など新たな経験もすることができ、有意義な一年間を過ごしています。

年明けは、一年間のまとめと6年生の卒業式に向けて、全校で頑張っていくことになります。式の形式については、まだ状況がはっきりしないため、ご来賓の設定などについては、今後検討させていただくことになると思います。

今は、子供たちが明るく元気に学校生活を過ごせるようにすることが、私たち教職員一同の思いです。地域の方々のご支援を、よろしくお願いいたします。



ども達にとってより良い活動となるよう尽力していきたいと思えます。今後もご支援のほど、何卒よろしくお願いたします。

おかれた場所で、咲いています

陽北中学校 校長 後藤 知行



「今年こそ」とスタートした令和4年度でしたが、今年もまた新型コロナウイルスの影響を受け、一進一退の学校生活を送っております。広報紙第33号でもお知らせしたように、学校行事については、内容を変更したり、時期を変更したりするなど、工夫して実施することができました。平成15年から参加している宮まつりでの「宮っこよさこい」ですが、今年度は直前に中止となり、本校校庭での発表となりました。練習してきたことを懸命には発表する姿は感動的でした。

秋には、県総合文化センターにおいて、文化祭・合唱コンクールを実施することができました。合唱時には生徒はマスクを直用するほか、入場についても制限を行うなど、生徒の安全を第一に考えた開催となりました。

11月には、オープンスクール・土曜授業が行われ、保護者の皆様に授業や運動会で披露することができなかった、「陽北よさこい」を各学年発表することができました。

「あと少し、あと少し」の日々が続いておりますが、生徒はそんな中でも前向きに、与えられた中で、精一杯力を発揮し、おかれた場所で懸命に咲いております。

まだまだ地域の皆さんに学校の様子を見ていただく機会は少ないのですが、これからも地域とともにある学校を目指してまいりますので、ご支援とご協力をお願いいたします。

陽北中学校PTA活動

PTA会長 薄井 かずみ

陽北中学校PTAは、これまでとは異なる新しい生活様式の中で、今まで続いてきた陽北中学校の熱心なPTA活動を絶やすことなく、伝統として引き継いでいきたいという思いで、各専門部、執行部ともに一年間活動してまいりました。

今年度のPTA活動を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の影響により、さまざまな各学校団体との行事や会合が中止となり、満足のゆく地域交流ができませんでした。

しかし、そんな中でも各専門部の役員の方々の方々の協力のもと、学校の先生方とコミュニケーションを図りながら、新しい生活様式を取り入れたPTA活動ができたのではないかと思います。

また、月に一度行っている学校周辺の防犯パトロールは、新型コロナウイルス感染症が流行する以前から継続している活動のひとつです。PTA専門部、先生方と執行部から数名ずつ参加して、生徒たちの下校後に30～40分歩いてパトロールをしています。

陽北中学校PTAは今後も安全に充実した学校生活を送れるよう、活動に取り組んでまいります。地域の皆様、ぜひとも引き続きご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍での活動

錦地区民生委員児童委員協議会
副会長 恩田 優子

2020年から始まったコロナのために、人々の生活はいろいろな不自由を感じさせられている。そのため民生委員児童委員の活動も大幅に縮小せざるを得なくなっている。本来ならば、顔を見て対話しながらのはずが、電話だったり、書面だったり、オンラインだったり、もどかしい感じがしてしまいます。

でも発想の転換をすれば、皆それぞれが、おうち時間が増え、今まで日中在宅していなかった人達が、隣近所の「目が届く」良い面もあるのではないかなと思う。ことさらに声掛けはしないけれど、「気配」を感じてくれているのではないのでしょうか。一人よりも大勢の人が他の人を自然に気遣うという、昔の長屋のような雰囲気が出てきているような気がする。ネガティブよりポジティブに考えれば良いということである。

将来的には、終息の見えないコロナと上手に付き合っ、「助け」を必要としている人達とどう向き合うか、待たなしの状況をどう変えていくかということ、急いで知恵を出し合っていく時期が「今」なのではないかと思えます。

●錦地区民生委員児童委員(主任児童委員)紹介

	氏名	担当自治会
会長	山谷美枝子	北河原自治会、今泉西自治会
副会長	恩田 優子	今泉1～3丁目、今泉町9丁目
	佐藤 清子	錦西自治会
民生委員	齋藤 敦子	今泉町8丁目中央自治会、今泉中妻自治会
	羽田 令子	八坂西自治会
	間々田 薫	今泉町8丁目西自治会
	新井 裕子	今泉町8丁目東自治会
	堀内 純子	錦自治会
	橋本 佳絵	今泉町5丁目自治会
	田村 淑子	今泉1丁目自治会、今泉2丁目自治会
	石川 一典	今泉町4丁目自治会、八坂自治会
主任児童委員	大室 圭子	
	新田 千佳	

民生委員児童委員とは

同じ地域で生活する住民の一員として、住民からのさまざまな生活上の困りごとや心配事に関する相談に応じ、必要な支援を受けられるよう、地域専門機関への「つなぎ役」としての役割を担っています。

錦地域リサイクル推進部会 活動報告

錦地域リサイクル推進部会 会長 池澤 秀典

日頃の推進員および錦地域の皆様のご協力に感謝しております。さて、リサイクル推進部会の活動として今年度はコロナ禍の影響で、当初の事業計画の変更を余儀なくされ、主に次の2つの活動でした。

1. 「ゴミステーションの巡回」

今泉町8丁目東、今泉町8丁目中央、今泉町8丁目西、の3地区で推進員と役員で、9月の中旬に行いました。大きな問題もなく概ね良好でした。また、私の地区の八坂西自治会のゴミステーションに洗濯機のモーターの付いたドラムの部分が捨ててあり、処分に困っていたので、市のゴミ減量化に連絡して処分していただきました。

2. 「不法投棄パトロール」

11月中旬に北コース、南コースを推進員の皆様と手分けしてパトロールを行い、南コースで御用川と田川の合流点付近で、消火器が投棄されており、ゴミ減量化へ連絡して速やかに処置していただきました。

「錦文化祭における分別アンケート」および「ゴミ分別教室」は実施することができませんでしたが、次年度にはぜひ実施したいと思えます。

令和4年度 錦地区防災訓練実施報告

錦地区自主防災会 会長 菊地 敏秀

日頃より錦地区自主防災会の活動につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染症拡大により、様々な活動が停止状態の中ですが、令和4年11月6日(日)に規模を縮小し、感染対策を行なったうえで「密」にならないよう、各自錦中央公園に集合とし、令和元年以来3年ぶりの晴天の中、防災訓練開催となりました。

宇都宮市消防署および、消防第5分団のご指導のもと、参加者は161名と役員4名で、初期消火訓練、AED取り扱い学習、水法工法訓練、第5分団の消防車放水等を速やかに実施することができました。

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。令和5年度の防災訓練は11月12日(日)を予定しております。



老人クラブ会員募集について

錦地区老人クラブ連絡協議会
会長 添野 貴

錦地区老人クラブ(ひばりクラブ)は会員総数64名で結成され、活動に取り組んでおります。老人クラブは、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織であり、介護保険制度の導入に伴い、高齢者を主体とする介護予防と相互の生活支援という観点から、その活動及び役割が今後ますます期待されております。

このため、本事業を通じて老人クラブ活動のより一層の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進することにより、明るく長寿社会の実現と保健福祉の向上に資することが目的であると思えます。

以上の目的を基に錦地区老人クラブは活動を行っていますが、新型コロナの感染症が3年前に発生し、その後猛威をふるい現在に至り、収束の兆しささえも見えない状況にあります。高齢者においては、感染すると重症化する危険性が高いといわれていることによって、事業の大部分を感染症予防を考慮し、縮小して行っています。とくに保育園や小学校の児童との交流事業は全面的に中止となっています。

以上が事業の概要です。最後になりますが、宇都宮市老人クラブのつどいが令和4年11月29日に市文化会館小ホールで行われ、連合会長表彰の式典が行われ、錦ひばりクラブは2つの授章がありました。ひとつは優良老人クラブ1号表彰と、加入促進運動優良単位クラブの表彰の授章がありました。錦地区老人クラブをもっと発展させたいと思えますので、ぜひ地域の皆様のご入会をお願いいたします。



令和4年度の錦地区子ども会育成会 連絡協議会の活動について

錦地区子ども会育成会連絡協議会 会長 星野 和俊

今年度、下期より錦地区子ども会育成会連絡協議会の会長をしております星野です。当初は久木田さんが会長をされていましたが、転勤に伴い途中交代で会長の任に着きました。

日頃より子ども会活動に対する地域の皆様の厚い支援に大変感謝申し上げます。地域の皆様の見守りにより子ども達も安全に過ごすことができております。

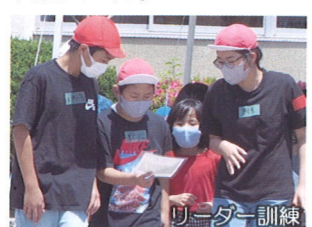
今年度も引き続きコロナ禍の中ではありますが、いくつかのイベントを開催することができました。

一つ目は、6月のリーダー訓練です。例年では5、6年生対象の一泊二日で行っていたものを、今年度は内容を縮小し、半日でドッチビーと謎解きクイズを行いました。

二つ目は、12月の冬季スポーツ大会です。全学年対象に子ども会ごとのチームに分かれドッチビーの試合を行いました。当初9月に実施予定でしたが、延期での開催でした。

このように子ども達に喜んでもらえるスポーツイベントを開催することができました。我々も楽しく活動ができました。

しばらくの間はイベント開催が難しい状況が続くと思えますが、子





早春の野山を「歩け歩け大会」 全員完歩しました。

錦体育協会 会長 泉田 邦夫



令和5年2月5日(日)、晴天の中、3年ぶりに「歩け歩け大会」を開催しました。長岡公園方面の8.5kmコースと美術館、瓦塚古墳方面の13kmの2コースに50名が参加し、5歳から88歳の参加者全員が元気に完歩しました。

コロナ禍の中、ソフトボール、野球、グラウンドゴルフ大

会は実施してきましたが、参加者が50名を超える行事を実施できたことをうれしく思います。参加いただいた皆様、スタッフの皆様本当にご苦労様でした。

※「歩け歩け大会」は錦体育協会と錦地域まちづくり協議会の共催で実施しています。

歩け歩け大会 コース図

第16回

錦文化祭へ作品展示会が
4年ぶりに開催されました



令和4年10月20日(木)~22日(土)、令和元年(2018年)以来4年ぶりに錦文化祭が開催されました。第16回目となる今回はコロナ禍の影響で、規模が縮小され(演奏会や模擬店等の屋外催しは取り止め)作品展示のみの開催として、地域から29組の皆様の絵画、写真、手工芸の作品約120点が展示されました。このような状況で開催告知も控え目となり、直前まで開催の行方や地域の反応が不安視されていましたが、それでも期間中に183名の来場者があり、久々の地域行事として手ごたえを感じ、次回の開催へ向けて弾みがついたようです。

開催にあたり、会場設営や運営には錦地区連合自治会をはじめ老人クラブ、民児協の皆さんのご協力をいただきました。ありがとうございました。

(第16回錦文化祭事務局)

錦コミセンで

フラワーアレンジメント講座を
開催しました

2月24日(金)八坂神社前のお花屋さん アサダ花園さんを講師にお迎えし、12名が参加。かわいらしいピンク色のチューリップやガーベラに癒されながら、和気あいあい楽しく制作しました。

